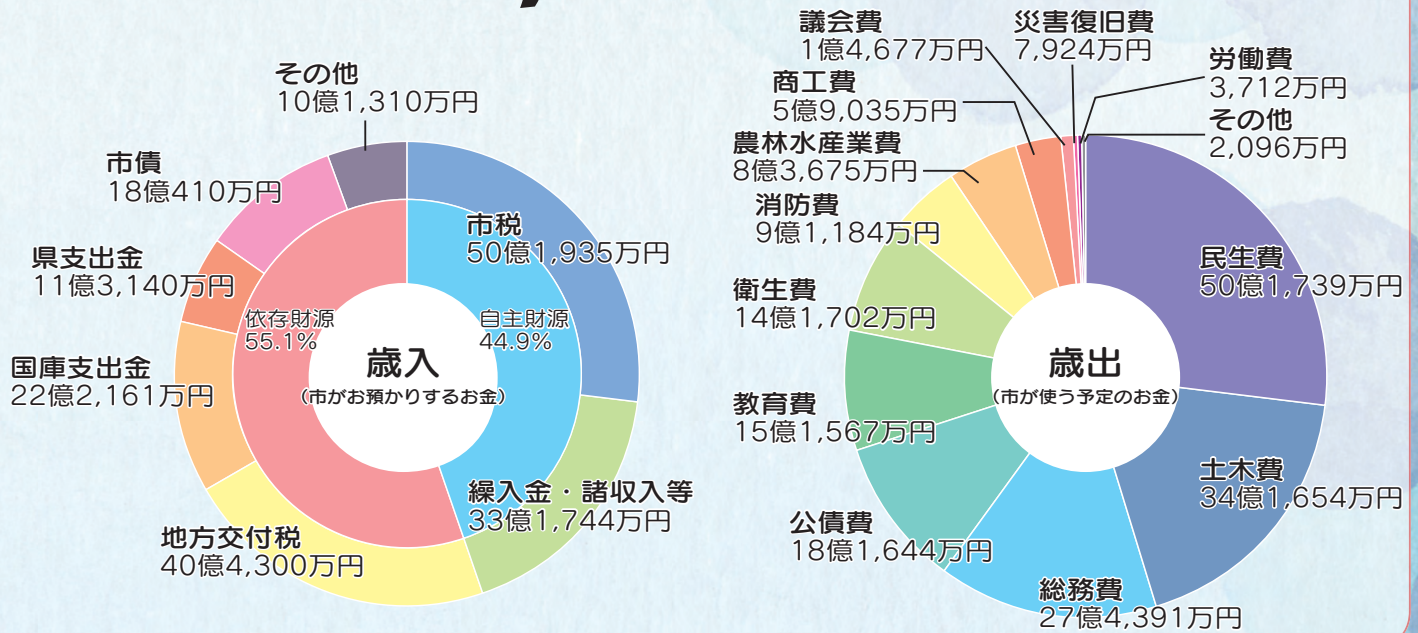


小千谷市の予算と主要事業

第五次小千谷市総合計画の都市像「～ひと・技・自然～ 暮らして実感 地域の宝が輝くまち おぢや」

●一般会計歳入・歳出の構成比 ※このほかに特別会計と企業会計があります。（最下部に記載）

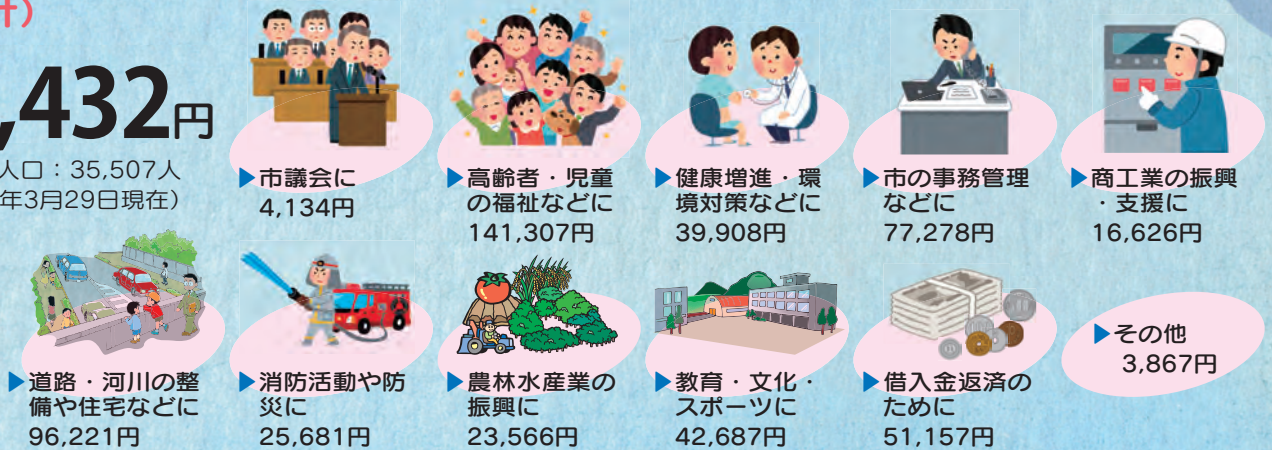
総額 **185億5,000万円**（対前年度比7.1%増）



●小千谷市民一人あたりの予算（一般会計）

522,432円

市の人口：35,507人
（平成31年3月29日現在）



●特別会計と企業会計

特別会計		76億8,539万円
国民健康保険	31億5,314万円	
介護保険	37億6,144万円	
後期高齢者医療	7億6,568万円	
工業団地事業	513万円	
企業会計		68億9,442万円
ガス事業	21億8,357万円	
水道事業	18億4,432万円	
工業用水道事業	2億8,187万円	
下水道事業	25億8,466万円	

●市の借金

	平成30年度末 残高	平成31年度 借入予定額	平成31年度 元金償還額	平成31年度末 残高見込
一般会計				
一般会計	170億1,895万円	18億 410万円	16億8,034万円	171億4,271万円
企業会計				
ガス事業	1億5,711万円	-----	3,163万円	1億2,548万円
水道事業	46億9,127万円	5,000万円	1億3,756万円	46億 371万円
工業用水道事業	2億1,869万円	-----	4,353万円	1億7,516万円
下水道事業	98億 662万円	2億9,860万円	9億7,669万円	91億2,853万円

変革の年「まちの変化」が見える年 平成31年度（2019年度）の主な事業

小千谷市のまちづくりの基本的な考え方は、市の総合計画に表しています。

総合計画の6つの基本目標を達成するため、平成28年度から5年間で計画期間とした第五次小千谷市総合計画前期基本計画を策定しています。基本計画では、事業を横断する4つの重点プロジェクトを定め、基本目標の効果的な達成を目指しています。

4つの重点プロジェクト

小千谷市総合戦略の推進 （人口減少対策）

雇用拡大と産業振興、若者の移住・定住促進、結婚・出産・子育てへの切れ目ない支援、暮らしやすいまちづくり

中心市街地等の利用計画決定と 周辺地域との交通網整備

市街地などの活性化と周辺地域との道路網や公共交通網などのネットワーク整備

防災公園整備と 公共施設の適正配置

災害発生時に避難・支援活動の拠点となる公園の整備と、将来人口を見据えた公共施設などの適正配置

ニュー・ツーリズムの推進

山本山などを拠点とした自然・教育・農業・観光などの活性化や交流推進（グリーンツーリズム・スポーツ・健康・防災・産業観光ツーリズム）

基本目標別の新規・拡充事業

1 人を育み文化の香るまちづくり

（教育、文化、スポーツ）

（新規）中学校部活動指導員制度の開始

340万円

適切な練習時間や休養日の設定など部活動の適正化を図るため、中学校に外部指導員を配置します。



（新規）国民文化祭小千谷市独自事業

187万円

秋に県全体で行われる国民文化祭に合わせ、小千谷特有の闘牛や錦鯉、小千谷縮の展示と紹介を行います。



（拡充）小・中学校 ALT・アシスタント等配置

1億350万円

ALT（外国語指導助手）、特別支援学級アシスタント、学校支援員、スクールアシスタントを各学校に配置して、児童・生徒の学校生活・学習活動の支援を行います。



（拡充）総合体育館施設改修、備品整備

5,290万円

バスケットボールのゴール更新、メインアリーナ天井照明のLED化などを行います。



2 子育てにやさしく健康長寿で 支えあうまちづくり (福祉、健康、医療)

(新規) (仮称) 健康・子育て支援センター 一整備 1億4,943万円

(仮称) 健康・子育て支援センターを2020年1月に開設して、妊娠期から子育てまでのワンストップ対応を行います。



(新規) 病児・病後児保育室の開設 949万円

保護者の勤務などのため家庭で見ることができない病児などの幼児・児童を、一時的に預かります。

(新規) 子どもの学習支援 74万円

貧困の連鎖を防止することを目的に、生活困窮者世帯の子どもの学習・生活支援を行います。



(新規) 生活応援商品券事業 1億9,042万円

住民税非課税者、0歳～3歳半(2019年9月末時点)の子のいる世帯を対象としたプレミアム付商品券を発行します。

(新規) 幼児教育無償化(認定こども園 ・保育園)(負担軽減分) 5,570万円

10月から幼児教育の無償化が実施されることに合わせ、教育・保育費用を市が負担します。



(新規) 風しん対策 2,350万円

妊婦や赤ちゃんを守るため、現在39歳～56歳の男性を対象に抗体検査後、該当者に定期予防接種を行います。

(拡充) 健康ポイント事業、転倒骨折予 防医学講座支援 2,183万円

市民がフレイルやロコモの状態になることを予防するため、新潟大学と連携した予防医学講座を支援するとともに、健康ポイント事業など、運動を通じた健康づくり活動を推進します。



(拡充) 人間ドック補助対象拡大 5,130万円

75歳到達年度で受診時に74歳の方と、75歳以上の方への助成を拡大します。

3 創造性と活力あふれる産業のまちづくり (産業)

(拡充) 農業基盤整備事業 8,993万円

市内9か所で、農業用排水施設、ほ場、ため池の改修・整備などの事業費に対する補助を行います。



(拡充) 商店街等活性化支援事業 890万円

商店街のにぎわい創出と活性化を図るため、空き店舗への出店に対する改修費の一部補助、にぎわいづくり、街中SNS環境整備を支援します。

(新規) 中小企業ものづくり研究開発資 金貸付事業 2,000万円

中小企業の新製品・新技術の開発などを支援するため、研究開発資金を融資し、信用保証料を全額または半額助成します。

(拡充) U・Iターン就職推進事業 740万円

高校生・大学生などに対し、地元企業への理解を深め、U・Iターン就職を促進するとともに、就活・就労支援と若者の定住化を推進します。



(拡充) 錦鯉を活用したプロモーション ・販路開拓等 1,101万円

錦鯉発祥の地をPRすることにより、小千谷産錦鯉のブランド力を強化し、販路拡大・販売増加を支援します。

4 魅力ある都市空間創出と暮らしやすいまちづくり (都市基盤)

(新規) 病院跡地活用 11億3,685万円

市内のにぎわい・交流・憩いの創出のため、図書館を核とした中心市街地活性化を行います。今年度は、旧小千谷総合病院を解体します。

住宅取得・若者マイホーム取得補助事業
3,150万円

定住促進と地域経済の活性化のため住宅の新築や購入に対する補助を行います。

(拡充) 通学路等交通安全対策推進事業
7,000万円

市道千谷通学路線ほか、西小千谷・東小千谷・片貝地区の4路線の歩行帯整備工事を行います。



5 自然を活かした調和と安心のまちづくり (防災、環境、克雪)

(拡充) 岩沢住民センター耐震化
980万円

岩沢住民センターを耐震補強します。

(新規) ごみ処理施設長寿命化計画策定
700万円

時水清掃工場、クリーンスポット大原の施設延命化のため、長寿命化計画を策定します。

(拡充) 防災公園整備、中越大震災15年事業
1億4,660万円

東小千谷地区に防災の拠点を整備します。あわせて、震災・防災に対する学習・研修を強化します。



6 ふれあい、にぎわい、暮らし続けたいまちづくり (交流、市民参加)

(新規) まちの魅力売込み事業 (復興基金事業：事業費500万円) 100万円

小千谷の魅力を発掘して磨き、発信することで市の知名度向上を図ります。

(拡充) 移住定住交流推進事業
1,606万円

移住サポーター、地域づくり支援員配置、小千谷市体感ツアー、移住セミナーなど、移住定住と地域活性化を推進します。

(拡充) 小千谷プロモーション事業
550万円

観光情報の発信と誘客増強のため、ターゲットとなる首都圏や旅行者へのアプローチを強化します。

(新規) 熱気球更新事業 900万円

ふるさと納税の仕組みを利用したクラウドファンディングにより、熱気球機体を更新します。



その他

(新規) 住民票等各種証明コンビニ交付事業 3,299万円

マイナンバーカードを使用して住民票や戸籍などの各種証明書を発行するサービスを、提携コンビニエンスストアなどで開始します。

